

【設計はオリコンサルグローバルJV パッケージ1施工は五洋・大豊JV トアマシナ港拡張が起工】



完成イメージ
トアマシナ港湾開発公社(SPAT)提供

トアマシナ港拡張が起工

設計はオリコンサルグローバルJV
パッケージ1施工は五洋・大豊JV

マダガスカルのとアマシナ港拡張事業が23日に起工し

た。深さ16層の大水深岸壁やコンテナヤードの整備などをJICA(国際協力機構)の円借款事業として行うもので、パッケージ1の施工は五洋建設・大豊建設JV。オリエンタルコンサルタンツグローバルJVが設計、施工監理などを含むコンサルタント業務を担当している。

同日行われた起工式でラジヤオナリマンピアニナ大統領は「総事業費は約450億円であり、これはわが国史上最

大の公共事業になる」と語った。

トアマシナ港は、マダガスカル国際貨物の7割以上を取り扱う同国最大の商業港だが、急速な経済成長と人口増加に伴う旺盛な貨物需要に港湾インフラが十分対応しきれず、恒常的な滞船や貨物の遅配が同国のさらなる経済成長を阻害する要因の1つになっている。

パッケージ1の竣工は2020年を予定。現在詳細設計中のパッケージ2は26年の竣工を予定している。同事業で港湾機能が強化することにより、取り扱い貨物量が2倍以上に増加することが見込まれている。